

## 「今年度の重点目標」

## 【令和4年度愛泉会重点目標】

社会福祉法人愛泉会は、今年度もスタッフ1人ひとりが利用者の想いや願いを受けとめ、対人援助の専門職であることを自覚し、成長する職場となるよう、更に磨きをかけてまいります。

### 1 意思決定支援、権利擁護の推進

重い障害のある方が多い当法人にとって権利擁護の徹底が重要です。日常での不適切行為や虐待につながる事案に迅速に対応し、意思決定支援を大切にしたい取り組みを行います。また本人参加や想いを具体化する取り組みを推進します。

### 2 サービスの質の向上

多岐にわたる事業展開の中、利用者視点に立ち生活の豊かさや活動の質の充実、自立への視点を大切に支援に努めます。第三者評価やサービス検証を実施し、日々の支援の質を向上する取り組みを行います。

### 3 安心安全の確保

日頃のリスク管理徹底と安全安心な暮らしや活動の提供に努め、新型コロナウイルス感染症対策では日頃の感染予防の取り組みを徹底し自治体や医療機関との連携、情報共有を行います。

### 4 地域貢献

各自立支援協議会や障害福祉計画等への参画を通し利用者の身近な場所での障害福祉政策に貢献し、またネットワークを生かした事業や地域での貢献につなげ、地域社会との関係や資源を生かした実践を行い、顕在化する多様なニーズに対応する事業の実施を検討します。

### 5 人材の育成

職員1人ひとりが重要な役割のある専門職で、主体的に学べる環境と長所に着目した人材育成を実施します。管理者研修、リーダー研修、ソーシャルワークの理論を基に新任職員研修を実施し、各事業の特性を生かした現場のニーズに迅速に対応できる研修を自主的に実施します。

### 6 働きやすい職場づくり

安定して長期に働けるよう待遇改善、苦情対応、ハラスメント防止等迅速に対応して開かれた風通しの良い職場づくりと法人全体のICTを進めることにより効率的な事業運営に努めます。

### 7 中長期計画の作成と事業の見直し

中長期計画を作成することで実施している事業の見直し等を実施するとともに、地域社会に必要な新規事業の立ち上げを検討します。



## 事業所活動紹介

各事業所ごとの取り組みについて紹介いたします。

### デイサポートたんぼぼ工房

## 『私らしく夢中になれる楽しいあたたかい場所』を目指して

令和3年度より、ソーシャルワークの実践のひとつとして、たんぼぼアーティスト(利用者)と専門家(デザイナー・企業・やまがたアートサポートセンターららら)との実践に取り組んでいます。令和3年度は、コンセプトワークを通し、誰のため?何のため?どんな事を事業所に?を専門家と共に考え、事業所のコンセプト「私らしく 夢中になれる 楽しい あたたかい 場所」と決定しました。このコンセプトは事業所を表現する言葉であり、私たちの目標となりました。

定期的に専門家とたんぼぼアーティストのワークショップから生まれる作品、そしてアーティストたちのエネルギーは間近にいる私たち支援者に感動を与えてくれています。令和4年度、たんぼぼ工房の「お店の名前」をテーマに話し合いを進めています。アーティストの皆さんが出されるワードの多様さ、素晴らしさに毎回専門家も支援者も驚かされています。

たんぼぼアーティストの皆さんがあらまのままで、思いのまま、自由に表現を楽しめるよう、今後も専門家の協力を得ながら1人ひとりの温もり溢れる作品・アーティストたちの魅力を地域・社会に発信できるよう新しい挑戦を続けていきたいと思ひます。

[デイサポートたんぼぼ工房 八鏡結]



### グループホーム支援センター天花

## 『コロナ禍の中の外出』

コロナ禍で、外出の際はマスクが必須とされています。ですが、中にはマスクをすることが難しい方もいらっしゃる。マスク着用が難しい、という理由で、一時外出を控えていた方がいましたが、先が見えず、これまでとは違う生活様式が求められる現状です。その中で、楽しみを無くさないためにはどうしたら

いいのか、事業所内で話し合いを行い、まずは、外出先の理解を得ることに取り組みました。

事業所開設時からお世話になっている、地域のコンビニやカラオケ店に、日頃から利用しているからと一方的なお願いでなく、「こういった点に不安がある」「もしかしらたらこうした行動が予想される」など、心配な点等をお伝えし相談すると、どちらも快く受け入れ、協力を得られる結果となりました。外出再開時の皆さんの表情はとても良かったと聞きます。

こうした環境や社会の変化は今後もきつとあるかと思ひます。それを、無理にご本人を変えようとしたり、こんな時代だから仕方ないと片付けたりするのはなく、今何ができるのか、前向きに柔軟に対応できるよう工夫して支援し続けていきたいと思ひます。[グループホーム支援センター天花 所長 阿部憲昭]



## 「広報委員会より」

## 「愛泉会の各委員会より」

### SNSによる情報発信について

当法人の事業所では、SNSによる情報発信をしています。是非、ご覧いただければと思ひます。

